

京都大学文学研究科修士課程修了者アンケート・集計と総括

平成25年3月25日実施分

(アンケートの概観と分析)

ここでは、昨年の修士修了者アンケートとの比較を通じてみられる今回のアンケート結果の特徴を概観し、その背景的な傾向について分析する。アンケートの具体的な集計結果はこの概観と分析の後に付してある。

A) アンケートの概観

- 1) 昨年実施のアンケートには60人が回答を寄せたが今回は69名であった。
- 2) アンケートの回答を総括的に概観する限り、この二年間の間に、修了生の研究経験への意識に大きな変化があったことは認められない。
- 3) 以下、個々の設問に関して認められた変化等について概観する。

設問1

(出身校) 昨年に比べて、京都大学以外の日本の大学からの入学者が増加した。それに伴い、京都大学文学部からの入学者、および日本以外の大学からの入学者が、若干減少している。

設問2

(大学院進学決定の時期) 昨年と比べて、4回生になってから進学を決定した学生数が若干増えているが、全体として有意な変化とは思えない。

設問3

(大学院進学動機) 「研究分野についてより深く学びたい」という動機が過半数を占めていることはこれまでと同様であり、他の動機に関してもおおきな変化は認められない。

設問4

(「自由の学風」と「自学自習」) 昨年同様、ほとんどの学生が自学自習の能力が養われるような形で研究指導が行われていると回答している。

設問5

(満足度) 十分に満足していると回答した学生数は昨年よりも若干増加しているが、大きな変化はない。

設問6

(修了後の進路) 一般企業に就職する学生が若干増えているが、大きな変化は認められない。

設問7

(勉学経験は何の役に立つか) 昨年みられた、「自分で問題を発見し、解決する能力」と答えた学生の割合の増加は今回は元に戻り、「専門的知識・能力」と答える者の割合が回復したが、全体として有意な変化があったという印象はない。

B) 分析

1) 昨年に比べアンケート回答者数は若干増加したが、毎年の修士修了者数も変化があることを考えれば、この程度の増減はアンケートに対する積極性における変化を反映するものとは考えられない。いずれにしても今後ともこの種の調査への積極的な取り組みは継続されるべきであろう。

2) アンケートの回答を全体として概観したとき、評価の傾向が昨年とほとんど変わっていない点は、文学研究科の教育・研究のレベルや、大学院生の求めるもの、勉学において志向する方向に大きな変化がないことを物語っていると思われる。

3) 大学院進学を決定した時期に関して、4回生になってからと回答した学生の割合に若干の増加が認められたが、この背景には就職活動で思うような成果があげられなかったという状況も考えられる。

4) 「自由の学風」には多くの学生が高い評価を示し、研究指導において「自学自習」の能力が養われていると判断している点は、京都大学文学研究科の伝統的な教育理念が今も有効な形で実現していることを示していると思われる。

(アンケート集計結果)

1. あなたの出身大学・学部等についてお聞きします。

a. 京都大学以外の日本国内の大学	27	39.1%
b. 京都大学の他学部、研究科等	3	4.3%
c. 京都大学文学部	32	46.4%
d. 日本以外の大学	7	10.1%
e. その他	0	0.0%

2. あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？

a. 学部入学後	16	23.2%
b. 系分属後（2回生のとき）	2	2.9%
c. 専修分属後（3回生のとき）	18	26.1%
d. 4回生になってから	25	36.2%
e. 大学卒業後、社会に出てから	5	7.2%
f. その他（ ）	3	4.3%

学部入学前

高校生の時

3. 進学動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）

a. あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。	49	71.0%
b. 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。	10	14.5%
c. 将来、研究・教育職に就くことを希望した。	18	26.1%
d. 企業等に就職する前に、もう少し研究を続けたいと思った。	20	29.0%
e. その他（ ）	2	2.9%

就職活動が上手く行
かなかった

自分の目標を達成す
るために自由にでき
る時間が欲しかった

4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？

a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	24	34.8%
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	32	46.4%
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、 どちらとも言えない。	12	17.4%
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	1	1.4%
e. その他 ()	0	0.0%

5. あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？

a. 十分に満足している。	32	46.4%
b. それなりに満足している。	32	46.4%
c. どちらとも言えない。	4	5.8%
d. 後悔している。	0	0.0%
e. その他 ()	0	0.0%
(無記入)	1	1.4%

6. 4月以降の進路についてお聞きします。

a. 博士課程進学 (他大学も含む)	31	44.9%
b. 博士課程進学の前準備	3	4.3%
c. 一般企業に就職	16	23.2%
d. 官庁、地方自治体等に就職	2	2.9%
e. 教員、司書等の専門職に就職	9	13.0%
f. その他 ()	8	11.6%

就職活動中 2

京都大学事務職員 1

無記入 4

7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。（複数回答可）

a. 専門的知識	43	62.3%
b. 専門分野の研究能力	39	56.5%
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	43	62.3%
d. 一般的な教養	17	24.6%
e. 国際感覚	10	14.5%
f. 外国語の能力	23	33.3%
g. リーダーシップ	2	2.9%
h. 社会的常識	0	0.0%
i. その他（ ）	2	2.9%

趣味の知識、行動力

端から見れば役立つ
ことが身に付いたと
言われるかもしれないが、
引き替えに無くしたものが
大きくて何も役立てられる
気がしない

8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻名の前に○印を付してください。

東洋文献文化学

11

15.9%

西洋文献文化学	5	7.2%
思想文化学	14	20.3%
歴史文化学	14	20.3%
行動文化学	8	11.6%
現代文化学	10	14.5%
(無記入)	7	10.1%

9. その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

2年間充実していました

今後ともこの学風を大事にしていきたいと思います

事務の対応が冷たかった

教室の掃除が行き届いていなかった

トイレのゴミ箱にタバコの灰が捨てられていることが多かった

学生証に英語も併記して欲しい

以上